

《救急編》

1 救急概況

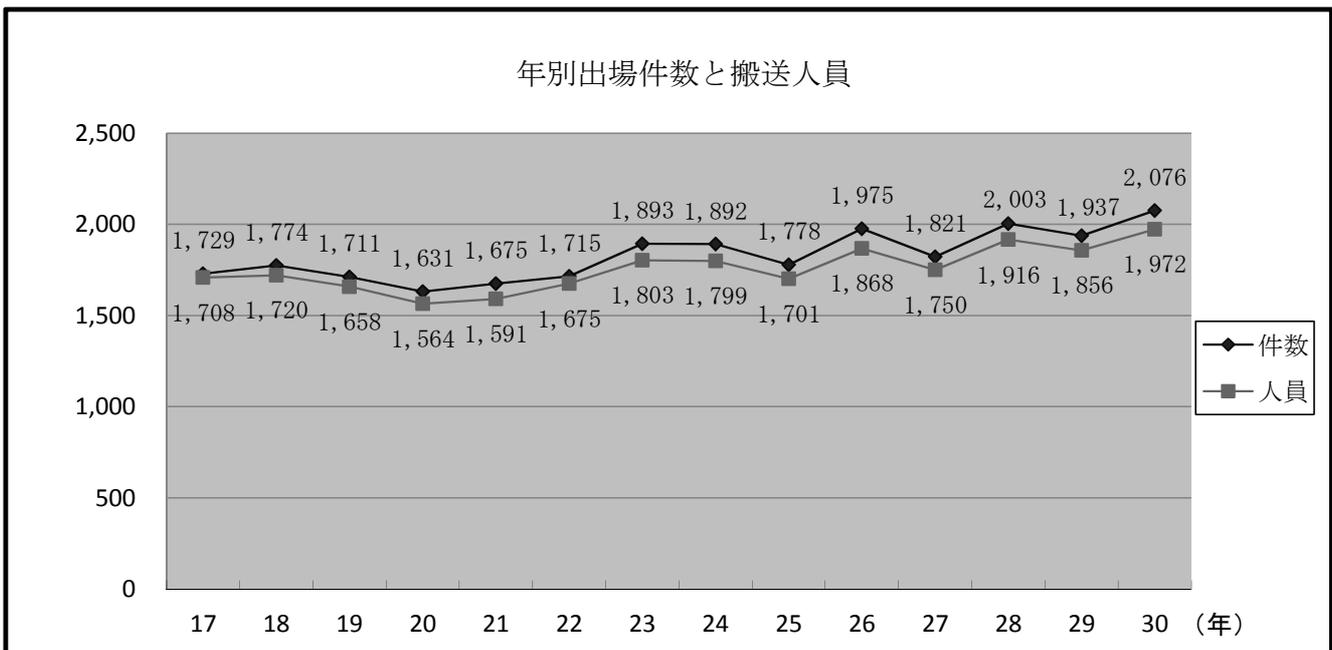
西予市消防本部が管轄する救急医療体制は、二次救急病院の市立(西予市民・野村)病院が隔日当番医制で対応している。しかし、総合的医療施設が無いために管外への転院搬送が多く、救急車が長時間にわたり管内不在となる場合がある。

また、平成30年4月より休日、夜間の救急車空白時間解消を図るため、明浜、城川救急出張所の24時間運用を開始。これに伴い、准救急隊員を含む救急隊(以下「准救急隊」という。)の運用を各出張所で稼働開始した。

救急隊及び准救急隊は、救急救命士23人、救急Ⅱ課程修了者9人、救急科(救急標準課程)修了者31人、准救急科修了者8人の計71人の職員で運用している。救急救命士については、気管挿管認定救命士18人(うちビデオ喉頭鏡認定救命士12人)、薬剤認定救命士21人、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与認定救命士21人が登録されている。

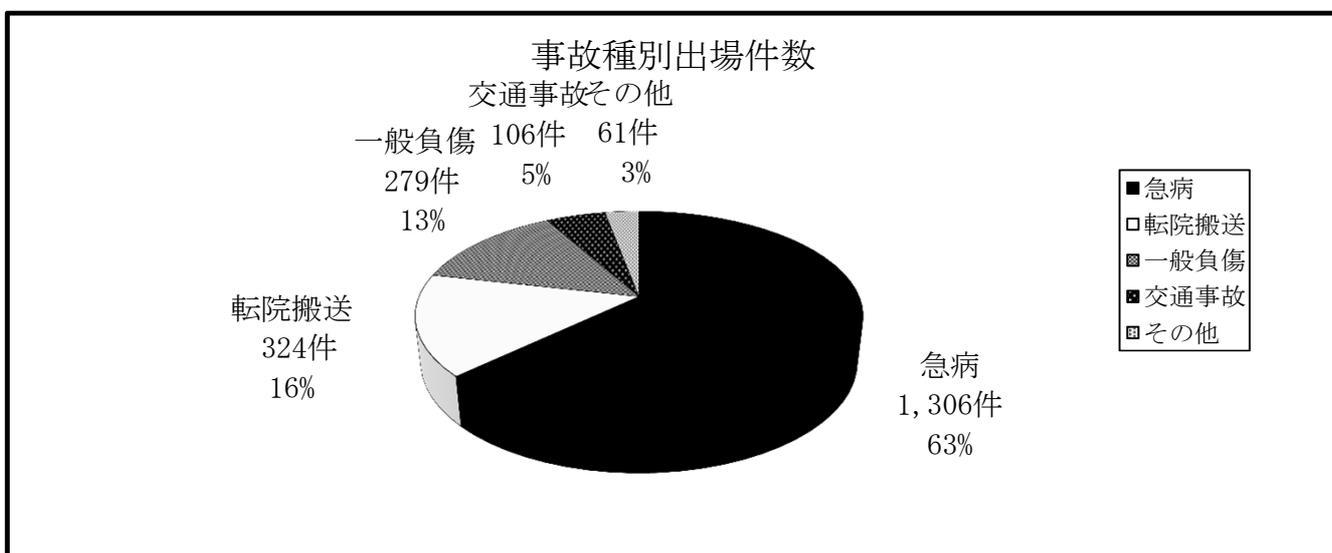
2 年別救急発生状況

平成30年の救急出場件数は2,076件(前年比139件増)、搬送人員は1,972人(前年比116人増)で、過去最高の救急件数及び搬送人員となった。



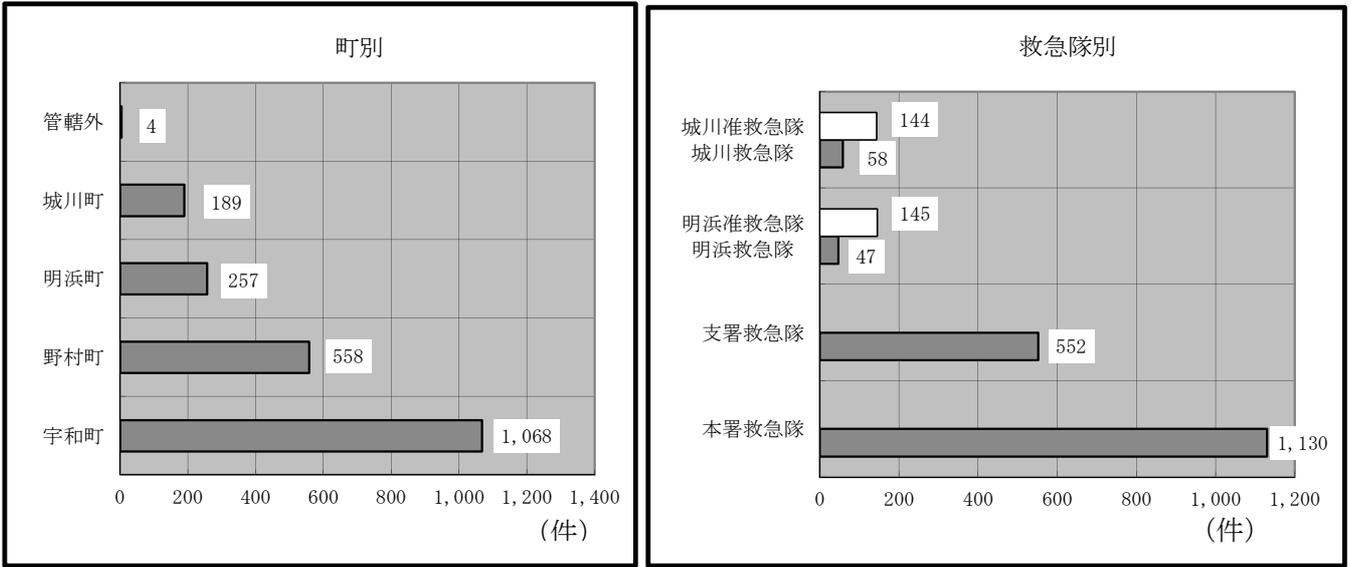
3 事故種別救急発生状況

事故種別で最も多いのは、急病の1,306件(前年比82件増)で、次いで転院搬送の324件(前年比22件増)、一般負傷の279件(前年比5件減)、交通事故の106件(前年比17件増)となっており、急病による出場件数が6割を占めている。前年に比べて全種別増加している。



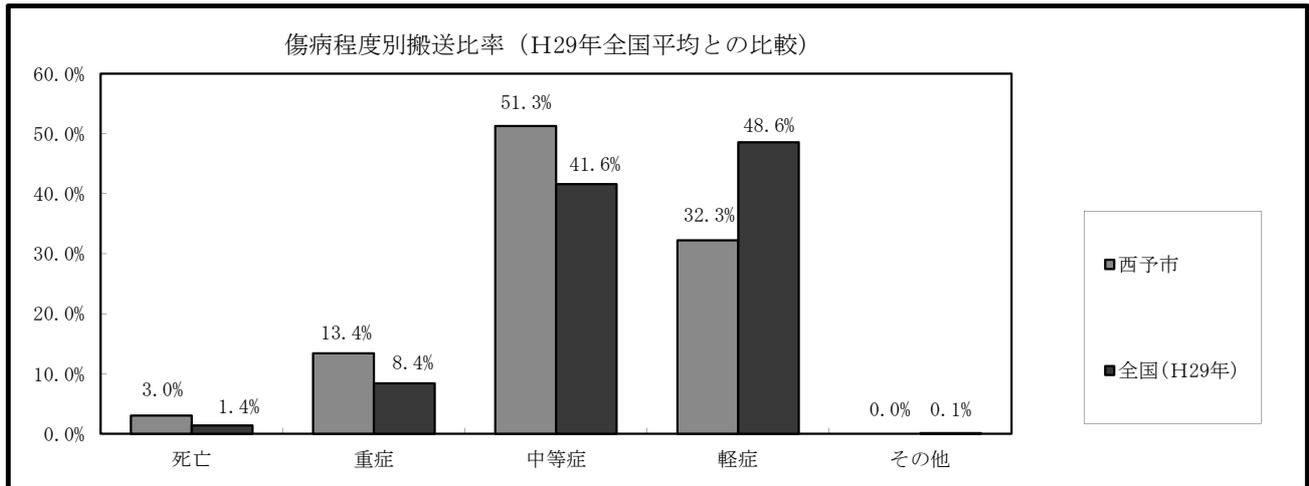
4 町別救急隊別救急発生状況

町別では、宇和町で1,068件発生しており全体の51%を占めている。救急隊別では、本署救急隊が1,130件(54.4%)、支署救急隊が552件(26.6%)となっている。平成30年4月より運用を開始した准救急隊については、城川准救急隊が144件(7%)、明浜准救急隊は145件(7%)と各出張所の約8割を出場している。



5 傷病程度別救急搬送人員

傷病程度別の搬送人員状況は、死亡60人(3%)、重症264人(13.4%)、中等症1,012人(51.3%)、軽症636人(32.3%)となっており、平成29年の全国平均と比較して軽症が少なく、中等症以上で多くなっている。



事故種別傷病程度別救急搬送人員

種別	合計		死亡		重症		中等症		軽症	
	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%
火災	1								1	100.0%
自然災害										
水難事故	4		4	100.0%						
交通事故	115				4	3.5%	52	45.2%	59	51.3%
労働災害	16				3	18.8%	7	43.8%	6	37.5%
運動競技	7								7	100.0%
一般負傷	271		5	1.8%	22	8.1%	152	56.1%	92	33.9%
加害	3						1	33.3%	2	66.7%
自損行為	10		2	20.0%	2	20.0%	4	40.0%	2	20.0%
急病	1,224		46	3.8%	119	9.7%	609	49.8%	450	36.8%
その他	321		3	0.9%	114	35.5%	187	58.3%	17	5.3%
計	1,972		60	3.0%	264	13.4%	1,012	51.3%	636	32.3%

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

6 急病患者の疾病分類と傷病程度別救急搬送人員

急病患者の疾病分類では、循環器系383人(前年比14人増)が最も多く、次いで消化器系164人(前年比27人増)となっており、精神系と感覚系及び診断名不明以外で中等症の割合が高くなっている。

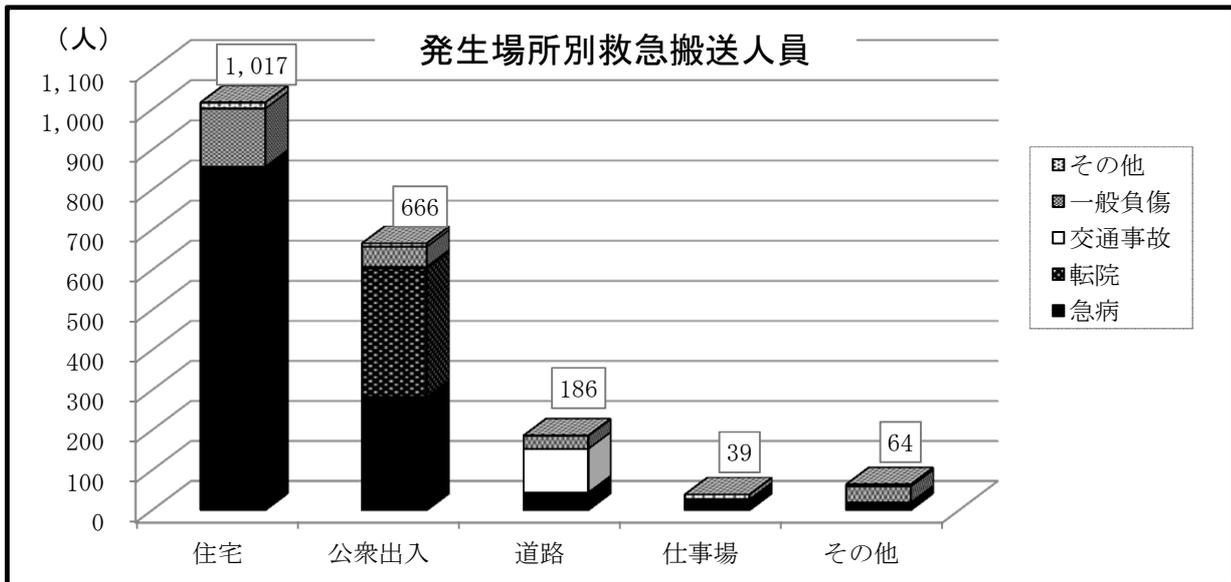
急病患者の疾病分類別傷病程度別搬送人員

		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	計	
循 環	脳疾患	2	44	103	52	201	16.4%
	心疾患	33	34	62	53	182	14.9%
消化系		3	12	92	57	164	13.4%
呼吸系		3	13	114	25	155	12.7%
精神系				3	23	26	2.1%
感覚系				21	41	62	5.1%
泌尿系			2	27	18	47	3.8%
新生物				10	1	11	0.9%
その他		5	12	164	155	336	27.5%
診断名不明			2	13	25	40	3.3%
計		46	119	609	450	1,224	(人)

7 発生場所別救急搬送人員

発生場所別救急搬送人員は、住宅が1,017人(51.6%)、公衆出入場所が666人(33.8%)、道路が186人(9.4%)、仕事場が39人(2.0%)、その他の場所が64人(3.2%)となっている。

住宅では急病が最も多く、公衆出入場所では転院搬送が多くなっている。



8 過去5年間の町別救急発生状況

出場件数2,076件の町別状況では、宇和町1068件(51.4%)、野村町558件(26.9%)、明浜町257件(12.4%)、城川町189件(9.1%)、管外4件と、宇和町での出場が半数を占めている。

人口比の利用率では、明浜町が12.4人に1人と最も高く、次いで野村町の14.4人に1人、宇和町の15.7人、城川町の17.4人に1人の順となっている。

町別出場件数(5年間)

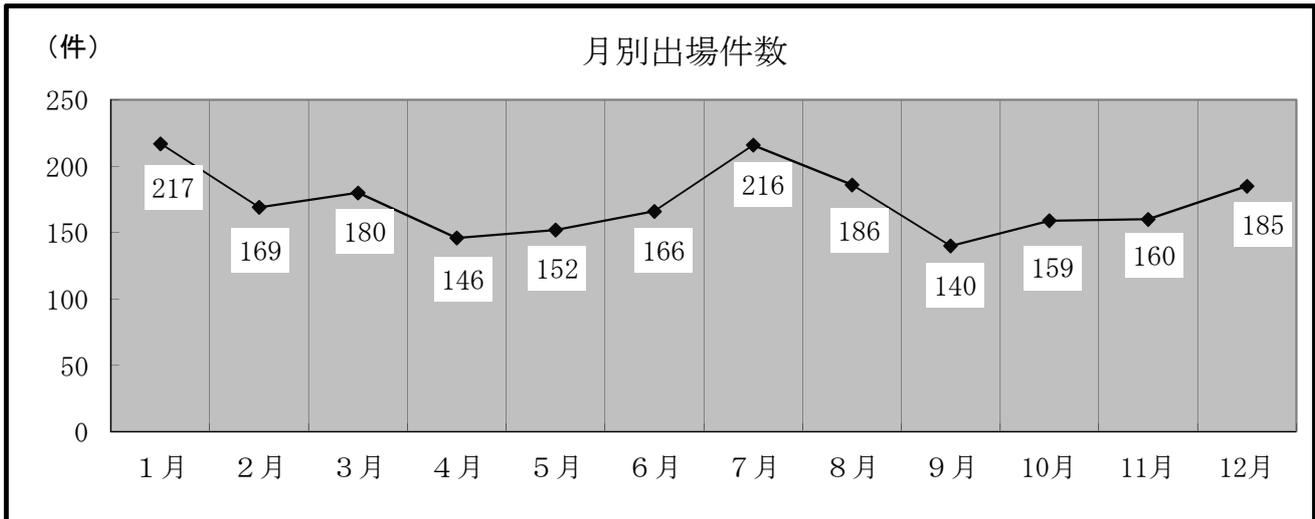
(人口：平成30年12月末現在)

暦年 町別	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		人口比 利用率	H30年 人口
	件数	比率%										
明 浜 町	239	12.1%	185	10.2%	236	11.8%	192	9.9%	257	12.4%	12.4 人/件	3,188
宇 和 町	986	49.9%	904	49.6%	1,039	51.9%	994	51.3%	1,068	51.4%	15.7 人/件	16,766
野 村 町	523	26.5%	526	28.9%	523	26.1%	552	28.5%	558	26.9%	14.4 人/件	8,009
城 川 町	221	11.2%	202	11.1%	200	10.0%	194	10.0%	189	9.1%	17.4 人/件	3,294
管 外	6	0.3%	4	0.2%	5	0.2%	5	0.3%	4	0.2%		
計	1,975		1,821		2,003		1,937		2,076		15.1 人/件	31,257

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

9 月別救急発生状況

月別では1月が最も多く217件、次いで豪雨災害のあった7月で216件と多くなっている。

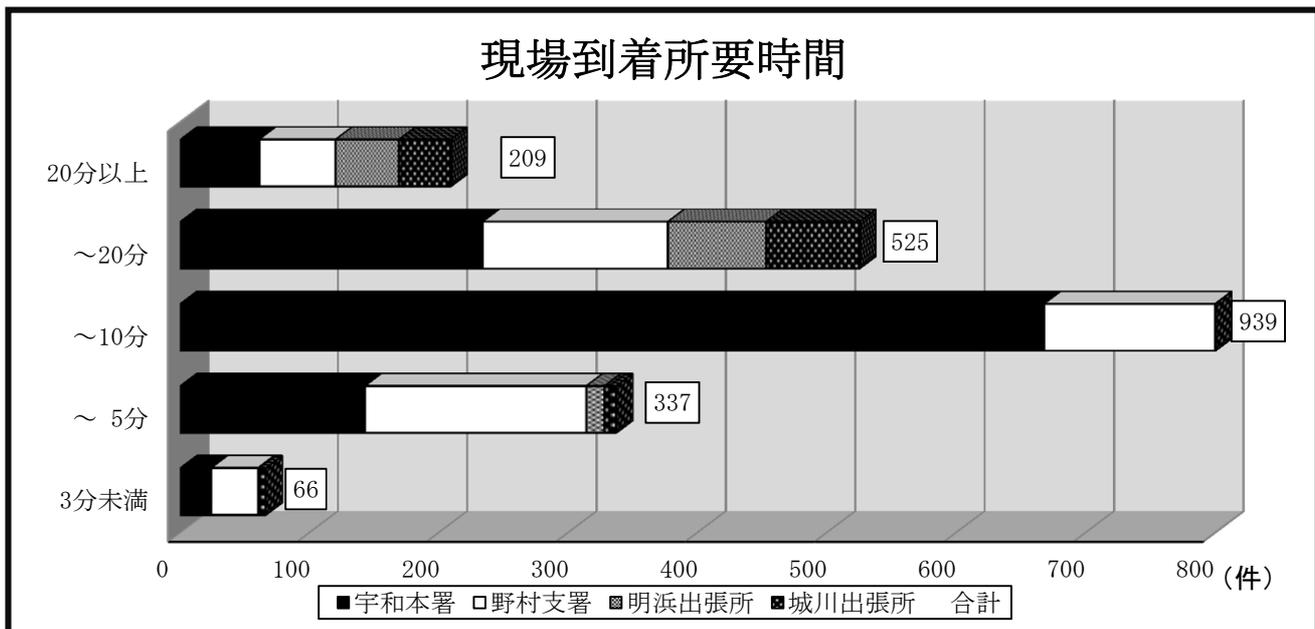


10 現場到着所要時間状況（入電～現場到着）

現場到着の平均時間は9分54秒で、平成29年全国平均(8分36秒)より1分18秒遅い。昨年平均より18秒遅延しており、要因として山間部等の遠隔地域での救急需要増加が考えられる。

時間別の状況では、5～10分未満が939件で最も多く、全体の45.3%となっている。

町別では、宇和町で7分21秒と最も早くなっている。4月より24時間救急出張所の運用を開始した明浜町では17分42秒(平成29年24分30秒)で昨年比6分48秒の短縮。城川町では11分59秒(平成29年18分8秒)で昨年比6分9秒の短縮と、両町とも大幅な救急車現場到着時間の短縮がみられた。



署所別平均所要時間 **全署平均「9分54秒」** (本署8分36秒) (支署9分36秒) (明浜14分6秒) (城川14分30秒)

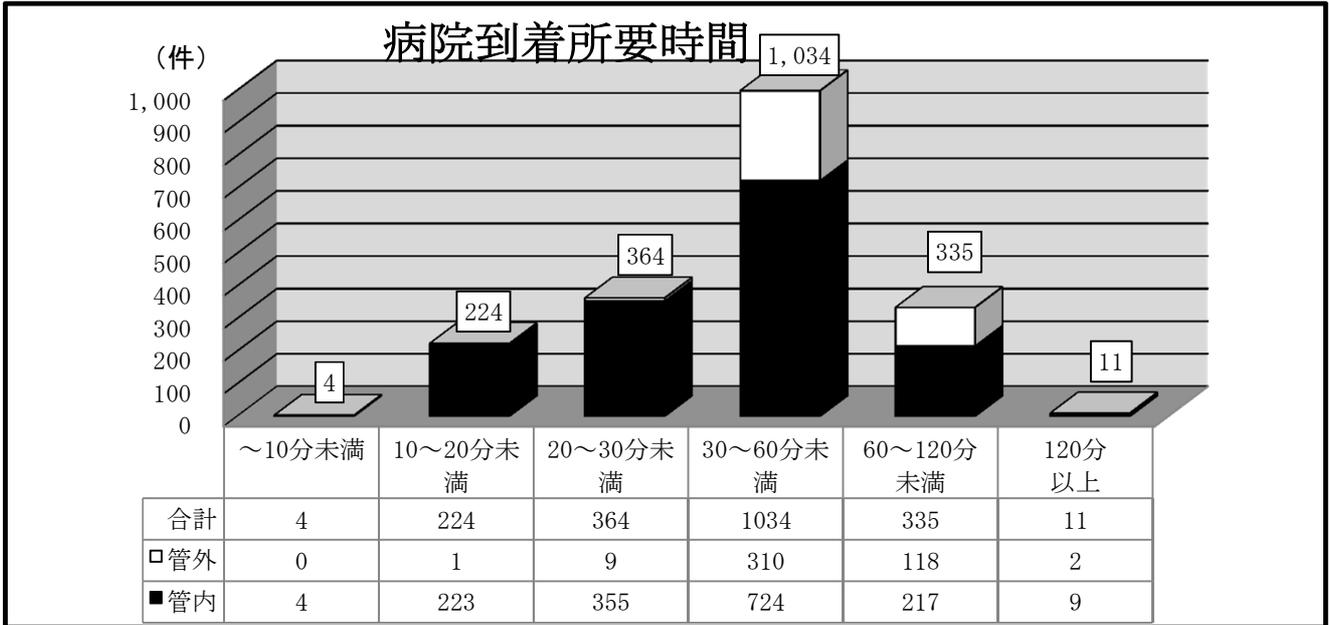
町別平均所要時間 宇和町(7分21秒) 野村町(10分32秒) 明浜町(17分42秒) 城川町(11分59秒)

署・出張所別現場到着所要時間状況

	宇和本署	野村支署	明浜出張所	城川出張所	合計	%
3分未満	24	36	1	5	66	3.2%
～5分未満	143	171	14	9	337	16.2%
～10分未満	668	143	52	76	939	45.2%
～20分未満	234	143	76	72	525	25.3%
20分以上	61	59	49	40	209	10.1%
計	1,130	552	192	202	2,076	(件)

11 病院到着所要時間状況(入電～病院到着)

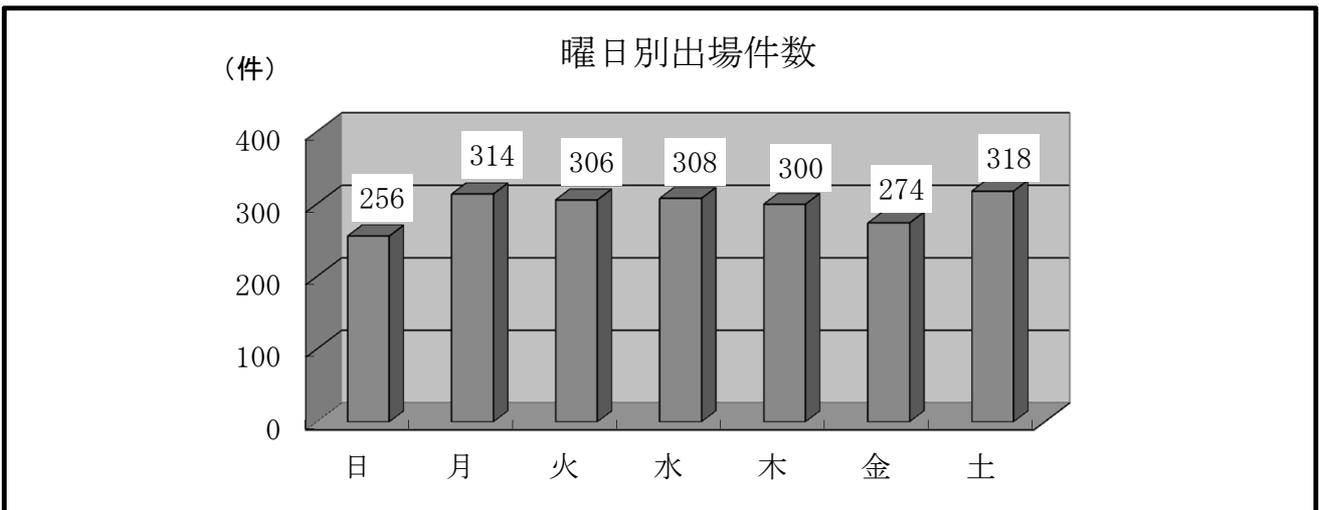
病院到着所要時間で最も多いのは、30～60分未満の1,034件となり、全体の52.4%となっている。
 病院到着の平均時間は35分27秒(前年比-1分38秒)で、平成29年全国平均(39分18秒)より3分51秒早い。



病院到着平均所要時間 35分27秒

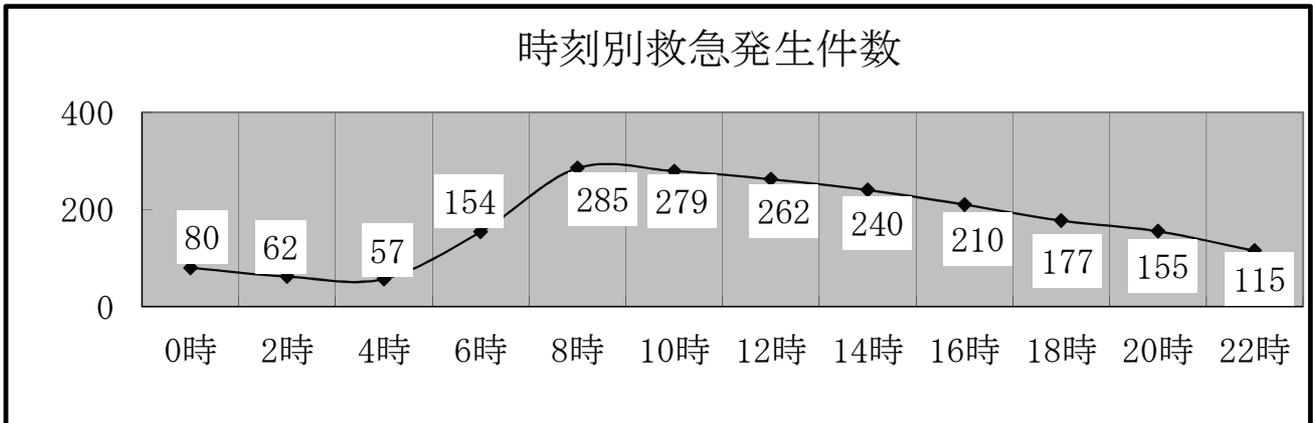
12 曜日別救急発生状況

曜日別で多いのは土曜日の318件で、次いで月曜日の314件となり、少ないのは日曜日の256件である。



13 時刻別救急発生状況

例年のとおり、生活時間帯と睡眠時間帯に分かれた傾向になっているが、最も多い時間帯は、生活時間帯の6時から20時で1,762件と集中しており、22時から6時前にかけての睡眠時間帯が少ない。



14 救急隊員が行った応急処置状況

応急処置を施した傷病者は1,972人であり、応急処置では、血中酸素飽和度測定1,946件(前年比156件増)と血圧測定1,896件(前年比158件増)は、応急処置を施した傷病者に対して、95%以上実施している。

また、心肺蘇生は62件(前年比2件減)実施しており、救急救命士の特定行為については、除細動1件、血糖測定13件、静脈路確保12件を実施し、さらに気管内挿管8件を行っており、薬剤投与に関しては、アドレナリン、ブドウ糖ともに適応症例がなかったため、実施していない。

救急隊員が行った応急処置状況

	急病	交通	一般	転院	その他	計
応急処置対象人員	1,224	115	271	321	41	1,972
止 血	2	5	20		6	33
固 定	2	57	39	13	2	113
人 工 呼 吸				1		1
心 肺 蘇 生	50		7		5	62
うち自動心マッサージ	8		1		1	10
酸 素 吸 入	393	14	34	99	9	549
気 道 確 保	69		10	3	5	87
経鼻・経口エアウェイ	3					3
喉頭鏡、鉗子	9		4			13
食道閉鎖式エアウェイ						
気管内挿管	6		2			8
保 温	38	4	10	7	2	61
被 覆	8	20	53		11	92
在宅療法処置継続	84		2	11		97
血 圧 測 定	1,177	111	260	315	33	1,896
聴 診 器	584	59	61	49	8	761
血中酸素飽和度測定	1,206	118	268	317	37	1,946
心 電 図	734	14	68	156	20	992
除 細 動	1					1
心停止後静脈路確保	7		1			8
心停止前静脈路確保	2	1	1			4
薬 剤 投 与						
血 糖 測 定	12			1		13
ブドウ糖投与						

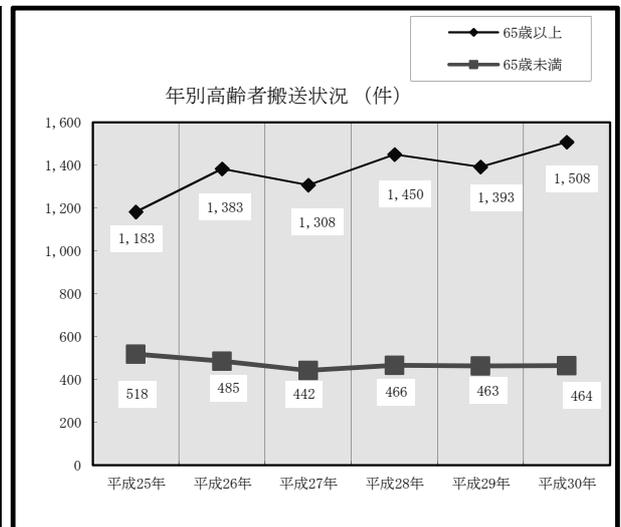
15 年齢区分別救急搬送人員

年齢区分では、高齢者(65歳以上)の1,508人(76.5%)が多く、次いで成人(18歳~64歳)の368人(18.7%)、少年、乳幼児の順となっている。

過去、5年間と比較しても、65歳未満はほぼ横ばいで推移しているが、高齢者については増加傾向にある。

年齢区分別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
火 災					1	1
自然災害				1	3	4
水難事故						
交通事故		6	14	51	44	115
労働災害				11	5	16
運動競技			6	1		7
一般負傷		5	6	43	217	271
加 害				1	2	3
自損行為			3	7		10
急 病		31	19	195	979	1,224
そ の 他		2	4	58	257	321
年齢別合計		44	52	368	1,508	1,972



16 病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員

病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員では、管内搬送が1,511人(前年比108人増)、管外搬送が440人(前年比3人増)、ドクターヘリ・防災ヘリ引継ぎ(管内)が21人となっている。

管内では二次救急当番医(西予市民・野村病院)が1,485人(全体の76.6%)となっており、管外では、市立宇和島病院が333人で管外搬送の75.6%を占め、次いで大洲喜多医師会病院が34人で7.7%、県立中央病院が15人で3.4%となっている。

病院等所在地別搬送状況

所在地	管轄	本署	支署	明浜出張所	城川出張所	合計	比率%	病 院 名	救急告示	開設者
管内搬送	明 浜 町			2		2	0.1%	あじき医院	その他	私 的
	宇 和 町	548	127	95	32	802	40.7%	西予市民病院	告示	公 立
		17	2	3		22	1.1%	近藤医院、山下小児科 他	その他	私 的
	野 村 町	243	279	35	126	683	34.6%	野村病院	告示	公 立
					2	2	0.1%	井関整形外科、宇都宮内科	その他	私 的
城 川 町										
小計A		808	408	135	160	1,511	76.6%	管内病院合計		
		75.4%	76.4%	75.8%	84.7%					
宇 和 島 市		204	80	32	17	333	16.9%	市立宇和島病院	告示	公 立
		6	3		1	10	0.5%	南予救命救急センター	告示	公 立
		12	1	3		16	0.8%	独立行政法人宇和島病院	告示	公 的
		3	1	5		9	0.5%	徳洲会病院、吉田病院 他	告示他	私 的 他
小計(a)		225	85	40	18	368	18.7%	(宇和島市合計)		
八 幡 浜 市		1				1	0.1%	八幡浜市立総合病院	告示	公 立
		2				2	0.1%	守口小児科、矢野脳神経外科	その他	私 的
小計(b)		3				3	0.2%	(八幡浜市合計)		
大 洲 市		15	16		3	34	1.7%	喜多医師会病院	告示	私 的
		4				4	0.2%	市立大洲病院	告示	公 立
		1				1	0.1%	大洲中央病院	告示	私 的
		1	1			2	0.1%	大洲記念病院	その他	私 的
小計(c)		21	17		3	41	2.1%	(大洲市合計)		
松 山 市		3	12			15	0.8%	県立中央病院	告示	公 立
			2			2	0.1%	松山赤十字病院	告示	公 立
		3	1			4	0.2%	南松山病院、四国がんセンター	告示	私 的 他
小計(d)		6	15			21	1.1%	(松山市合計)		
東 温 市		2	1			3	0.2%	愛大附属病院	告示	国 立
			2			2	0.1%	愛媛医療センター	その他	公 立
小計(e)		2	3			5	0.3%	(東温市合計)		
西 予 市		1		1		2	0.1%	三瓶病院	告示	公 立
小計B(a~e)		258	120	41	21	440	22.3%	管外病院合計		
		24.1%	22.5%	23.0%	11.1%					
他 の 場 所 C		5	6	2	8	21	1.1%	Drヘリ・防災ヘリ引継ぎ		
合 計 C (A+B+C)		1,071	534	178	189	1,972				